

令和5年度 入学者選抜

令和5年度 長野工業高等学校 全日制 前期選抜 志願理由書の書き方

- ・志願理由書は中学校から配布されたもの、もしくは本校公式ホームページからダウンロードしたものを使用する。
- ・志願理由書は黒のペン、又はボールペンで書くこと。鉛筆で書いたものをコピーして提出する事は認めるが、鉛筆書きは不可とする。

1 入学を希望する理由

ここには、**志望学科欄に記入した学科**に入学を希望する理由を書くこと。
各学科の説明(別紙)を必ずよんで、志望する学科を慎重に検討すること。
募集の観点にある「目的意識」「意欲がある者」という点や、その他あなたが入学を希望する理由をありのままに書くこと。

2 自己アピール

志望動機、中学校での活動の様子、高校で学びたいことや活動してみたいこと、将来の抱負などについて書くこと。
[中学校での活動で、特に力を入れて取り組めたことについて、以下の項目を参考に、なるべく具体的に書くこと。
複数の項目について書いてもかまわない。

- ・学習活動で特に工夫した点や学習の成果等。
- ・取得した資格、検定、研究成果等、自分が努力したこと。
- ・中学在学中の運動部、文化部、学校外のクラブ等の活動。
※キャプテンや部長等の役職、部活動の具体的内容等、アピールしたいことを書くこと。
- ・生徒会での役職や、生徒会の中で行った活動内容や成果。

その他、アピールしたいこと。

3 生徒会の実績

下記に該当する項目について書くこと。

- A. : 中学校の生徒会(会長・副会長)であった場合、該当に○をつけ、学年と期間を書くこと。(例「3学年(1年間)」等)
B. : 中学校のその他の生徒会役員(議長・書記・会計・その他)であった場合、該当に○をつけ、学年と期間を書くこと。(例「3学年(1年間)」等)
複数ある場合はそのうち最も責任のある立場の役員の名称を1つ書くこと。

4 部活動の実績

下記に該当する項目について書くこと。(該当する項目がない場合は書かなくてよい。)

- ・本人が出場、出品した大会・コンクール・展覧会の中で、**一番大きな大会(出場が最も困難な大会)について1つだけ書くこと。**
- ・運動部、文化部、または学校外のクラブ活動等について書いてよい。
- ・**選手として実際に競技をしていない大会については書かないこと。**

C. 大会名 : 大会正式名称を詳しく書くこと。(例:「中学校体育連盟 北信地区中学校体育大会 陸上競技」等)
以下、この大会に出場した内容についてD～Lに書くこと。

D. 部の名称 : Cの大会へ出場した、部の名称を書くこと。
学校外のクラブチームで大会に出場した場合は、その正式チーム名を書くこと。
(例 : 「〇〇中学バスケット部」「〇〇市〇〇サッカーチーム」「〇〇選抜」等)

E. 加入団体 : Dのクラブの加入団体名を書くこと。
学校以外のクラブチームの場合は、そのチームが加入している団体の名称を書くこと。
(例:「中学校体育連盟」「〇〇市体育協会」等)

F. 主催者名 : Cの大会の主催者名の正式名称を書くこと。(例:「中学校体育連盟」等)

G. 学年 : Cの大会へ出場した中学在学中の学年を書くこと。

H. 個人団体 : Cの大会へ、個人出場の場合は「個人」、団体出場の場合は「団体」と書くこと。
例えば、テニス等で「団体戦でシングルスに出場」という場合は「団体」と書くこと。

I. 公認成績 : Cの大会の公認成績を具体的に書くこと。(例:「優勝」「6位入賞」「ベスト8」「1回戦敗退」等)
記録競技の場合は公式記録も書くこと。(例:「自由形100m 〇〇秒」等)

J. 大会規模 : Cの大会の規模を該当する中から1カ所選択し、○印をすること。
・北信越大会等とは、東海大会、中部大会等を含む。
・地区大会とは、北信大会、東信大会、中信大会、南信大会のことである。

K. 出場母体 : Cの大会への出場母体を具体的に書くこと。
中学校の場合は「〇〇中学」、選抜チームの場合は「〇〇選抜」、一般公募の場合は「公募」と書くこと。

L. 予選大会 : Cの大会の予選大会名を書くこと。予選がなかった場合は「なし」と書くこと。
(例:「長野市総合体育大会、北信地区中学校大会」等)

本校を志望される皆さんは、以下の各学科の説明を参考に、志望学科の選択をおこなってください。

全 日 制 （ 学 科 ）	学科の説明
機 械 工 学 科	・金属加工・機械設計など、機械に関わる基礎的な知識・技術・技能を学習します。 ・資格取得にチャレンジし、3Dプリンタ等の最新技術生産システムの学習から、製造業で牽引できる技術者を育成します。 ＜資格＞各種技能士(機械系)・ガス溶接技能講習・アーク溶接特別教育・計算技術検定・情報技術検定・基礎製図検定・危険物取扱者(乙種各類) 等
電 気 電 子 工 学 科	・電気工学分野、情報通信技術など、電気に関わる基礎的な知識・技術・技能を学習します。 ・電気電子・情報制御の理解を深め、資格取得にチャレンジし、電力・電気工業界を牽引できる技術者を育成します。 ＜資格＞電気工事士(第1種・第2種)・工事担任者・陸上特殊無線技士・危険物取扱者(乙種)・計算技術検定・情報技術検定・基礎製図検定 等
物 質 化 学 科	・表面処理、化学分析など、化学に関わる基礎的な知識・技術・技能を学習します。 ・素材・バイオ・エネルギー分野についても学び、幅広い産業を担う技術者を育成します。 ＜資格＞各種技能士(化学系)・危険物取扱者(甲種・乙種・丙種)・有機溶剤作業主任者・特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者・ボイラー取扱技能講習・計算技術検定・小型車両系建設機械運転特別教育 等
情 報 工 学 科	・情報工学に関わる基礎的な知識・技術・技能からAIやIoTに関する最先端技術まで、広く学習します。 ・コンピューター科学とICT技術を深め、全く新しい技術やイノベーションの変化に対応できる技術者を育成します。 ・四年制大学進学や資格取得、大学との連携、企業との連携などにも力を入れています。 ＜資格＞基本情報技術者・情報セキュリティマネジメント・ITパスポート・情報技術検定・パソコン利用技術検定 等
土 木 工 学 科	・国土の保全、社会インフラ整備、土木工学に関わる基礎的な知識・技術・技能を学習します。 ・情報機器を活用した製図・測量・施工技術を習得し、建設業を牽引できる技術者を育成します。 ＜資格＞2級土木施工管理技士補・測量士補・玉掛技能講習・小型移動式クレーン運転技能講習・小型車両系建設機械運転特別教育・建設業経理事務士・計算技術検定 等
建 築 学 科	・快適な居住空間の設計をはじめ、建築に関わる基礎的な知識・技術を学習します。 ・歴史と文化を踏まえつつ、新たなデザインや色彩の創造ができる感性豊かな技術者を育成します。 ＜資格＞2級建築施工管理技士補・3級技能士(建築大工)・福祉住環境コーディネーター・玉掛技能講習・小型車両系建設機械運転特別教育・フォークリフト運転業務特別教育・小型移動式クレーン運転技能講習・建設業経理事務士・色彩検定・CAD検定 等

注意：全日制と定時制の「志願理由書」は異なります。定時制へ志願する場合は、定時制用の「志願理由書」に記入してください。

定 時 制 （ 学 科 ）	学科の説明
基 礎 工 学 科	現代の産業は高度化・複合化が進み、基礎基本をもとにした実践力・応用力のある人材が求められています。基礎工学科では、工業の基盤となる機械系・電気系・情報系の各科目の学習をとおして基礎的な技術を身につけることを目指しています。
建 築 科	建築産業は基幹産業の1つとして活発な活動を続け、今後とも絶えることのない産業として多くの人材を求めています。建築科では建築に関する基礎的な知識と技術を習得し、建築生産の広い分野で活躍できる技術者の育成を目指しています。